
第2回 スーパーコンピュータ「富岳」 成果創出加速プログラム シンポジウム「富岳百景」 —「富岳」3年の軌跡—

高度情報科学技術研究機構(理事長 田島 保英)は、2022年12月21日(水)に、第2回 スーパーコンピュータ「富岳」成果創出加速プログラム シンポジウム「富岳百景」—「富岳」3年の軌跡—を開催します。

スーパーコンピュータ「富岳」^(*)が稼働して3年。その間に、文部科学省が推進する「富岳」成果創出加速プログラム^(**)から生まれた様々な研究成果を第一線で活躍する研究者が、広く一般の皆さまに向けてわかりやすくご紹介します。

特別講演として、2022年ゴードン・ベル賞ファイナリスト、東京大学地震研究所計算地球科学研究センター長 市村 強氏が、「富岳」による大地震シミュレーションについて講演いたします。

また、「防災・減災」「ものづくり」「ライフ」「宇宙・素粒子」「材料」の5つの分野から、身近なテーマを採り上げ、「富岳」の取り組みや研究成果をご紹介します。

パネルディスカッションでは、Z世代に大人気のカリスマプログラマーでありITインフルエンサーの千代田まどか(ちょまど)さん、そして新進気鋭の若手研究者3名を招き、「夢の形～未来のコンピュータ～」をテーマに、リアルタイムでディスカッションを行います。

「富岳」を駆使して生み出された多彩な研究成果に触れられる機会ですので、多くの方のご参加をお待ちしています。

詳細はこちら <https://fugaku100kei.jp/events/kasoku/2022/>

開催情報

- 開催名称： 第2回スーパーコンピュータ「富岳」成果創出加速プログラム
シンポジウム「富岳百景」—「富岳」3年の軌跡—
- 開催日時：2022年12月21日(水) 11:00~17:30
- 開催場所：オンライン (Zoom)
- 対象：企業・一般の方・高校生・大学生
- 講演予定：
【特別講演】「富岳」による大地震シミュレーション
【講演テーマ】防災・減災：線状降水帯

ものづくり：クリーンエネルギー

ライフ：個別化医療

宇宙・素粒子：基本法則から元素の生成

材料：光エネルギー変換材料

【パネルディスカッション】「夢の形～未来のコンピュータ～」

6.主催：一般財団法人 高度情報科学技術研究機構(RIST)

7.協力：一般社団法人 HPCI コンソーシアム、理化学研究所計算科学研究センター

8.参加費：無料（ただし、事前の参加申し込みが必要です）

9.参加申込(詳細)：

<https://fugaku100kei.jp/events/kasoku/2022/>



10. プログラム

セッション	タイムスケジュール	講演名	登壇者	時間
受付開始	10:30			
オープニング	11:00~11:05	ご挨拶	文部科学省	5分
	11:05~11:20	加速P 概要紹介	加速P 領域総括 藤井 孝藏 氏	15分
	11:20~11:50	「富岳」全系利用課題 大地震 (ゴードン・ベル賞ファイナリスト課題)	東京大学 地震研究所 計算地球科学研究センター長 市村 強 氏	30分
案内	11:50~11:55	セッション1~3の案内		5分
プレス向け説明会	12:00~13:15	※項9.参照	加速P 領域総括・講演登壇者	80分
セッション1	13:30~14:00	講演① 防災・減災 (線状降水帯)	気象庁気象研究所 気象観測研究部 室長 川畑 拓矢 氏	30分
	14:00~14:30	講演② ものづくり (クリーンエネルギー)	東京大学 大学院工学系研究科 教 授 吉村 忍 氏	30分
セッション2	14:30~15:00	講演③ ライフ (個別化医療)	東京都立大学システムデザイン学部 准教授 伊井 仁志 氏	30分
	15:00~15:30	講演④ 宇宙/素粒子 (基本法則から元素の生成)	高エネルギー加速器研究機構 素粒 子原子核研究所 理論センター 教 授 橋本 省二 氏	30分
	15:30~16:00	講演⑤ 材料 (光エネルギー変換材料)	奈良先端科学技術大学院大学 教授 藤井 幹也 氏	30分
休憩	16:00~16:10			10分
セッション3	16:10~17:20	パネルディスカッション 「夢の形~未来のコンピュータ~」	コーディネータ: 加速P 領域総括 朴 泰祐 氏 Microsoft Cloud Developer Advocate 千代田まどか 氏 千葉大学理学研究院 宇宙物理学研 究室 准教授 堀田 英之 氏 東京大学 大気海洋研究所 気候シス テム研究系 気候モデリング研究部 門 特任助教 高須賀 大輔 氏 東京大学大学院 情報理工学系研究 科教授 鈴木 豊太郎 氏	70分
クロージング	17:20~17:30		加速P 領域総括 常行 真司 氏	10分

【用語説明】

*1)スーパーコンピュータ「富岳（ふがく）」とは

スーパーコンピュータ「京」の後継機として理化学研究所が整備を進めてきた計算機で、2020年4月から先行して成果創出加速プログラムなどの運用を開始、2021年3月9日に共用を開始した。2021年11月のスパコン性能ランキングでは「TOP500」と「HPL-AI」を含め4期連続4冠を達成し、2022年11月のスパコン性能ランキングでも「HPCG」、「Graph500」において6期連続の世界第1位を獲得しており、世界トップクラスの性能を持つ。

(「富岳」については、理化学研究所計算科学研究センターHP <https://www.r-ccs.riken.jp/jp/fugaku> をご覧ください。)

*2)「富岳」成果創出加速プログラムとは

「富岳」成果創出加速プログラムは、「富岳」を用いた成果を早期に創出することを目的として文部科学省が設置した。(1) 人類の普遍的課題への挑戦と未来開拓、(2) 国民の生命・財産を守る取組の強化、(3) 産業競争力の強化、(4) 研究基盤の4領域について課題の選定が行われ、選定された課題は、「富岳」の計算資源を優先的に無償で使用し、速やかな成果創出を目指す。

(詳細は、文部科学省「富岳」成果創出加速プログラム (892KB)  をご覧ください)

<お問い合わせ>

一般財団法人 高度情報科学技術研究機構
シンポジウム「富岳百景」事務局

E-mail kasoku@operation-desk.jp

TEL 03-5282-4625

お問合せ時間：土・日・祝祭日を除く 10:00～17:00